令和　元年度

青少年のための科学の祭典　鹿行地区大会 鉾田会場

出　展　案　内

１　大会の趣旨

２「鹿行地区大会　鉾田会場」の概要

３　出展

４　出展申し込み

５　問合せ・申込先

１　大会の趣旨

(1)青少年のための科学の祭典　趣旨　　(財)日本科学技術振興財団ホームページより

21 世紀にわが国が"科学技術立国"として新たな飛躍を遂げ，また，科学技術をもって世界に貢献していくためには,科学的思考を身につけた真に創造性豊かな人材を育成することが最も重要な課題と言えます。

ところが，現実には，21 世紀に主役となる青少年の科学技術離れが進み，高校生や中学生における理科嫌いは，若年化の傾向をたどっています。

こうした現状を見るとき，当財団の設立の原点に立ちかえって新たなる使命が課せられていることを痛感します。 科学技術振興の原点である青少年の理工系指向への回帰運動，つまり"青少年が科学技術に親しむ環境づくり運動"を全力をあげて実践することが，今，一番の責務であると考えます。

"今，とにかく実体験の場が消えている！科学の魅力を体験できる機会を"と私たちは考えました。そこで，平成 4 年(1992 年)に「青少年のための科学の祭典」をスタート。会場に理科の全分野を網羅した多彩な実験や工作を効果的に展開しました。本物の科学に出会える「青少年のための科学の祭典」は，まさに前代未聞の体験型イベントです。科学のおもしろさ，実感することへのときめきに満ちた子どもたちの笑顔に，もっと出会いたい……。そんな熱い思いを込め，試行錯誤を繰り返しながらネットワークをつくり上げてきました。私たちは,「青少年のための祭典」を通じ，子どもたちの可能性を広く，大きく伸ばしていきたいと考えています。

(2)鹿行地区大会　趣旨

このような趣旨に基づき，茨城県においては平成１２年度に日立市で委託大会が開催され，その他，総和，日立，水戸，大洗で自主大会として開催されてきました。鹿行地区においては，平成１５年度に旧鉾田町（会場：鉾田第一高等学校）で初めて開催され，約２，０００名が来場しました。

昨年度は，行方市（会場：北浦中学校）で開催され，来場者２，０００名を数え，鹿行地区の市民の皆様にご理解をいただいています。

今年度は鉾田市で開催し，例年と同様に，参加者が自ら実験にふれ，科学を身近に感じられる事業にしたいと考えています。

２「鹿行地区大会　鉾田会場」の概要

(1)名　称　青少年のための科学の祭典・鹿行地区大会　鉾田会場

(2)期　日　令和元年１１月２４日(日)

(3)時　間　９時３０分から１５時３０分まで（入場は１５時まで）

(4)会　場　鉾田市立旭中学校（鉾田市造谷 863 番地 5）

(5)入場料　無料

(6)対　象

①来場者　鹿行地区　小・中学生（親子での来場多数の見込み）
②出展者　県内の小・中・高校教員，大学生，企業等の研究者　他

(7)目標来場者数　2,000人

(8)主催等（※後援に関しては，申請中のものも含む）

①主催　青少年のための科学の祭典・鹿行地区大会実行委員会
公益財団法人日本科学技術振興財団

②後援　文部科学省　茨城県教育委員会　鹿嶋市・市教育委員会　神栖市・神栖市教育委員会　行方市・行方市教育委員会　鉾田市・鉾田市教育委員会　潮来市・潮来市教育委員会　茨城県教育研究会理科教育研究部　茨城県高等学校教育研究会理化部　茨城県高等学校教育研究会生物部　茨城県高等学校教育研究会地学部　茨城新聞社　朝日新聞水戸総局　読売新聞水戸支局　東京新聞水戸支局　毎日新聞水戸支局　産経新聞水戸支局　株式会社茨城放送　全国科学館連携協議会　全国科学博物館協議会　NHK　日本物理教育学会　(一社)日本生物教育学会　日本地学教育学会　日本基礎化学教育学会　(一社)日本科学教育学会　(一社)日本理科教育学会　(一社)日本地質学会　(一社)日本生物物理学会　一般社団法人日本物理学会　(公社)応用物理学会　公益社団法人日本化学会　(一社)日本機械学会　(公社)日本アイソトープ協会　(公社)日本理科教育振興協会　(一財)日本私学教育研究所　(公社)日本植物学会　公益社団法人日本動物学会　(公社)日本天文学会　(公社)日本工学会　(一社)電気学会　日本エネルギー環境教育学会

(9)実行委員会，推進委員会

【実行委員会】
実行委員長　鉾田市教育長
実行委員　　鹿嶋市教育長，神栖市教育長，行方市教育長，潮来市教育長
　　鹿行５市　教育研究会理科研究部長

【推進委員会】
推進委員長　鉾田市立旭中学校長
推進委員　　鉾田市内小中学校教員及び鹿行地区教員有志，鹿行５市青少年担当者

３ 出 展

(1)出展形式　出展は以下の３つの形式に分けられる。

出展区分	スペース	時間･回数	募集出展数	運営人数	内容
ブース	教室にテーブル椅子を設け，これを1つのブースとします。1つの教室に2つのブースを設けます。	開場時間(9:30-15:30)中適宜	30	講師２名，ボランティア２名まで	縁日の露店のようにして，科学実験･工作を子ども達に楽しんでいただく出展です。テーブルと椅子は事務局が準備します。テーブルの上に機材･道具類を広げ，予め登録した実験･工作で来場者を待ち受けます。ブースの出展は科学の祭典の主役的存在です。
サイエンス･ショー	体育館ショーステージで行います。	午前午後各1回	2	講師２名，ボランティア３名まで	ブースより大勢を相手に，テーマに沿った幾つかの実験を組み立てます。子どもたちは着席しており，クローズドスペースでの実験なので，密度の濃い科学体験をすることができます。時間は 40 分程度で，公演を2回お願いします。
屋外実験	屋外で行います。	開場時間(9:30-15:30)中適宜	2	講師２名，ボランティア３名まで	屋外で行う実験です。会場内で行うにはスペース的に難しいもの等が対象になります。

(2)出展審査について

同種の実験の重複を避け，安全管理の観点から出展の審査を行わせていただきます。**審査の結果，事前に事務局から内容の変更をお願いする場合があります。**また，当日登録できない実験・工作がなされていた場合，実験・工作の変更をお願いする場合があります。

安全管理の観点は，次のような項目が挙げられますが，管理上安全と判断されれば規制の範疇ではありません。

・強い酸やアルカリを使用するもの
・強い光，大きな音，高い熱，においを伴うもの
・物理的，電気的な衝撃を受けるもの
・放射線を発生するもの

(3)安全管理及び保険について

多くの来場者が予想されますので，安全管理には十分配慮してください。子どもたちが帰宅してから再実験をする場合も想定して，注意事項があればお伝えください。

審査通過後，消防署に提出する使用薬品・火気調査表を郵送します。必要な場合は提出をお願いします。

ボランティアを含む出席者全員について，事務局でイベント全体の**傷害保険に加入しますので，出展者名簿は誤記のないよう**お気をつけください。

(4)実験解説書について

出展内容を簡単に説明した実験解説書を作成し，来場者に配布します。

出展者は，実験解説集の１ページを割り当てますので，**８月中旬**までに原稿を作成していただきます。

(5)材料費，謝金，交通費について

材料費については，事前の予備実験分も含め，材料費（消耗品）を下記のとおり支給します。

出展区分	予　算	
ブース	**材料費（消耗品）として**	**謝金（交通費込）**
サイエンス・ショー	上限１万円（予定）	１講師あたり 3,000 円（予定）
屋外実験	＊超過見込みの場合は、事前に相談	※講師は１出展２名までとする。 ※講師とﾎﾞﾗﾝﾃｨｱには，弁当を準備します。

・購入する消耗品は，出展審査通過後に郵送する調査表にて**事前申請**してください。
・消耗品とは，出展に必要とされる消耗的なもの（薬品・器具等）です。
・消耗品は，すべて領収書で精算します。
・領収書の宛先は大会実行委員会の正式名称**「青少年のための科学の祭典・鹿行地区大会実行委員会」**としてください。
・謝金は，出展形式によらず，交通費込みで１講師あたり３，０００円を予定しています。講師は１出展あたり２名までを原則とします。

(6)備品について

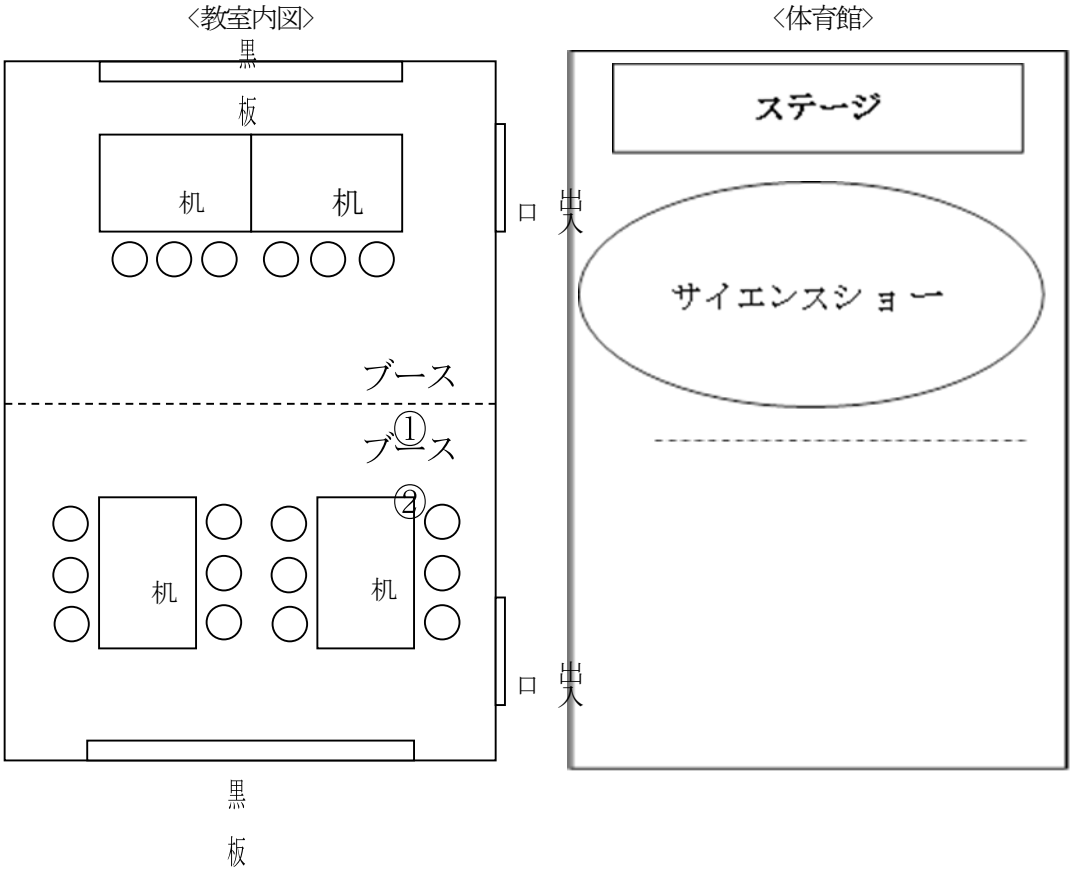
備品は購入できません。実験・工作で必要な場合は，お手元にあるものをご持参ください。また，管理は出展者で行ってください。準備が困難な場合は，事務局にご相談ください。備品の使用について借用書が必要な場合は，審査通過後に郵送する調査表にてご回答ください。

(7)搬入搬出について

搬入：前日１１月２３日（土）１５時から１７時まで，および当日８時から
搬出：当日１１月２４日（日）１５時４０分（閉会式後）から１７時３０分まで

(8)出展ブースの基本形態

出展ブースは，普通教室を前後に分け１教室に２つ設けます。１つのブースに実験用テーブルと，出展者用椅子を準備します。（出展者は，教室に液体等がかからないよう配慮をしてください。）



4　出展申し込み

出展に関するスケジュール(案)

内　容	日程（予定）	提出書類	備　考
①　展募集	５月２７日（月）	「出展申し込み票」	郵送またはFAX
②　展募集**締切**	６月２８　日（金）		
③　展の決定	７月上～中旬		※事務局より「決定通知」及び「調査票」「実験解説書について」等の必要書類を送付します
④　要書類の提出	８月９日（金）	「調査票Ａ・Ｂ」 「実験解説書」	
⑤前日準備・搬入	１１月２３日（土） １５時～１７時		
⑥祭典当日	１１月２４日（日） 搬入　８時～ 展示　９時３０分～ １５時３０分		
⑦精算（祭典当日）	１１月２４日（日） １１時半～１３時半	「領収書」 「消耗品精算書」	※領収書の宛名は**「青少年のための科学の祭典・鹿行地区大会実行委員会」**

(1)申し込み方法

「出展申込票」に必要事項を記入して，事務局（鉾田市教育委員会生涯学習課内）まで，郵送またはＦＡＸにてお送りください。

・電気の使用量に応じてブースの配置を決めますので，器具名とワット数を必ずご記入ください。

・その他，使用する薬品，火気，その他危険・不快を伴う可能性のある場合は，それぞれの欄にご記入ください。

(2)出展申込締切　令和元年６月２８日（金）

審査結果は，必要書類とともに７月上～中旬までにお送りします。

出展者は，８月中旬までに調査票及び実験解説書の原稿を作成していただきます。

5　問合せ・申込先

【青少年のための科学の祭典鹿行地区大会事務局】
〒３１１－１４９２　鉾田市造谷６０５番地３
鉾田市教育委員会　生涯学習課内　担当：近藤・石﨑・富田
ＴＥＬ：０２９１―３７―４３４２
ＦＡＸ：０２９１―３７―３１８５
e-mail：gakusyu@city.hokota.lg.jp

※様式等は、鉾田市役所公式ホームページ
（http://www.city.hokota.lg.jp/）でもダウンロードできます。